

由利本荘市総合計画 「ゆりほん未来プラン」 概要版

1. 総合計画の趣旨

由利本荘市では、今後10年間に於けるまちづくりの方向性を示した総合計画と、地方創生を目的とした総合戦略とを連携し、「ゆりほん未来プラン」としてとりまとめました。歴史や文化、産業、豊かな自然などの地域資源に恵まれた本市を次の世代に引き継ぐため、本計画に基づき、市民との協働のもと持続可能なまちづくりを進めます。

計画の構成として、概ね10年後の目指すまちの姿を「基本構想」として示し、その実現に向けた具体的な施策を4年間の「基本計画」としてまとめています。

2. まちの現況と課題

本市の総人口は減少を続けており、令和7(2025)年の推計値は69,070人、令和32(2050)年では42,387人と予測されています。

人口減少とあわせて少子高齢化も進行しており、地域経済の規模縮小、地域活力の低下、地域コミュニティの喪失、公共交通や医療・福祉など市民生活を支える担い手の不足など、さまざまな分野に深刻な影響が及ぶことが懸念されます。

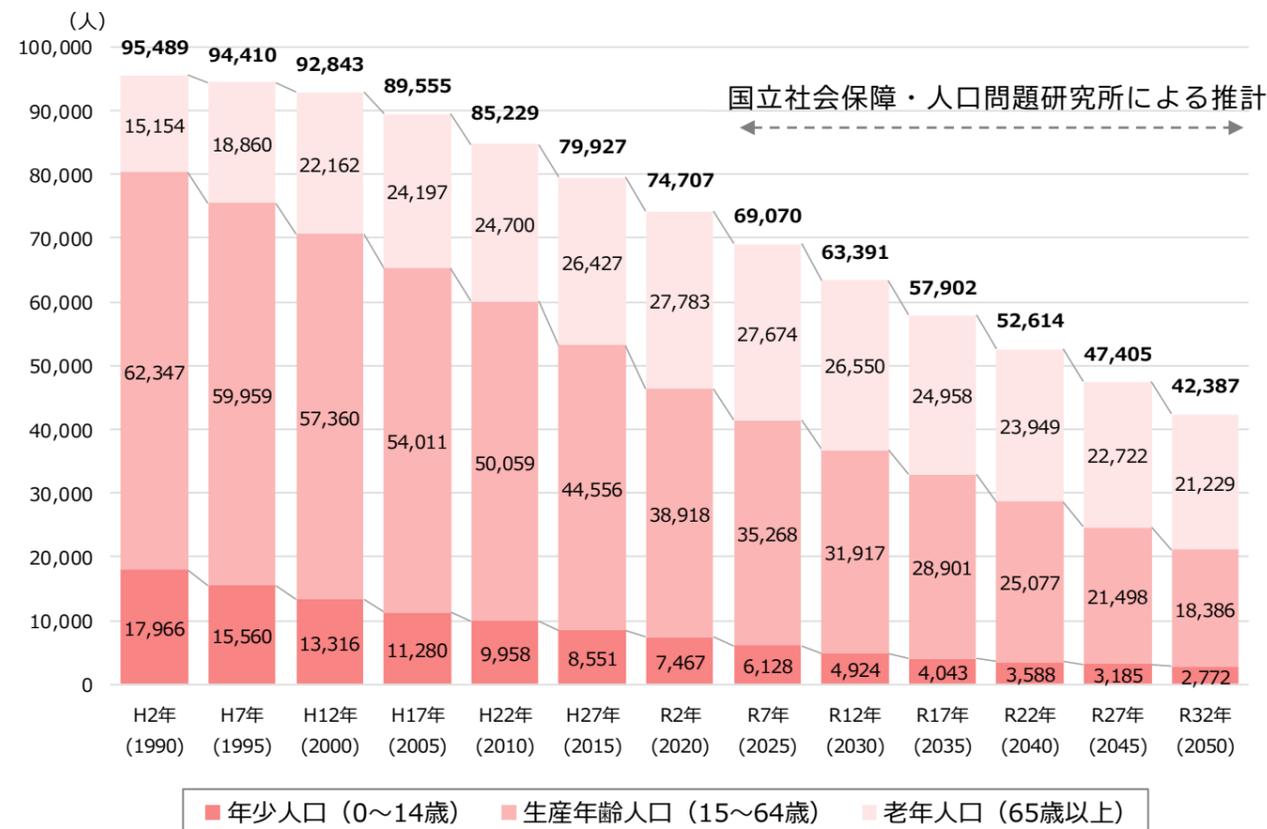


図. 平成17(2005)～令和32(2050)年における人口の推移

3. 基本構想 ～目指す10年後のまちの姿～

目指す10年後のまちの姿

市民一人ひとりが希望を叶え自分らしく暮らすまち

～このまちで私らしく生きる。このまちにずっと暮らす。

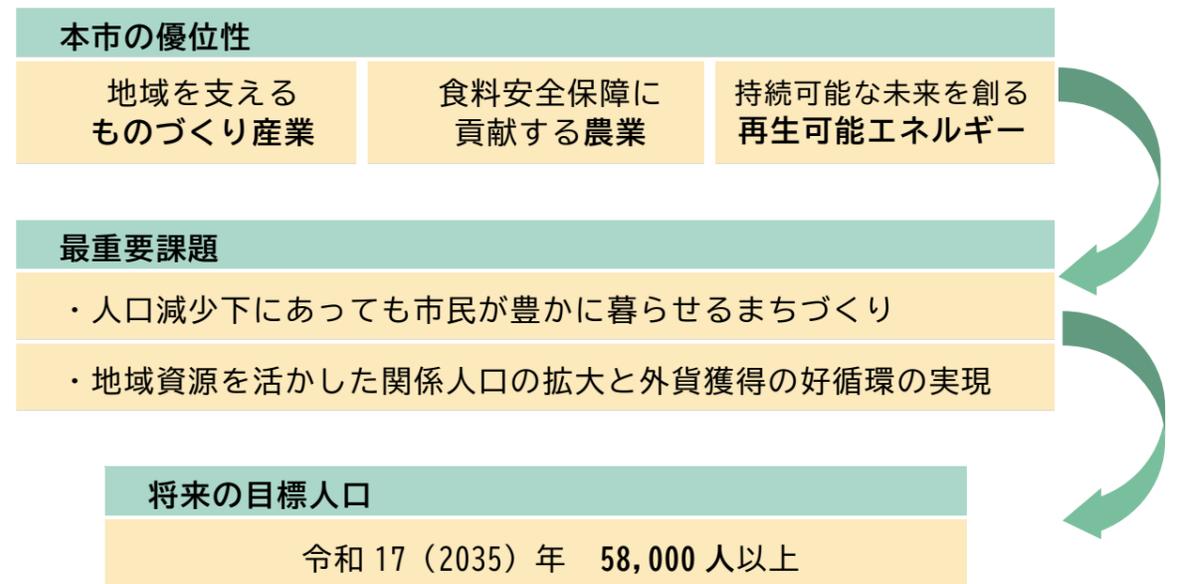
このまちをもっと好きになる。～

基本構想では、まちが抱える課題を踏まえた上で、地域の魅力や強みを活かして「目指す10年後のまちの姿」を描きます。

市民一人ひとりが希望を持ち、自分らしく暮らし続けられるこのまちで、これまで「当たり前」だと思っていた豊かさや価値にあらためて気づき、理解を深め、それらを次の世代へつないでいく。そんな未来に向けて、まち全体で一歩ずつ歩みを進めていきます。

10年後のまちの姿の実現にあたり、ポイントとなる2つの取り組みを「最重要課題」として位置づけます。この課題の解決に向け、本市の優位性を最大限に活かしながら、計画を着実に進めていきます。

本計画に示した施策を実行することで、人口減少は進行するものの、人口の減少幅を緩やかにします。令和17(2035)年に57,902人と予測された総人口を、58,000人以上に維持することを目標とします。



由利本荘市総合計画 「ゆりほん未来プラン」 概要版

4. 基本計画 ～分野ごとの4年間の取り組み～

目指す10年後のまちの姿の実現に向け、6つの基本政策ごとに推進分野を示し、該当する施策に取り組みます。

さらに、時代の潮流を踏まえつつ、3つの横断的な取り組みを設定します。

目指す10年後のまちの姿	基本政策	推進分野	横断的な取り組み		
			ゼロカーボンの実現	DXの推進	多様性の尊重
市民一人ひとりが希望を叶え自分らしく暮らし、このまちをもちと好きになる。	1. 産業政策 ～産業強靱化と雇用創出～	1. 起業・雇用			●
		2. 商業・工業	●	●	
		3. 農業・林業・漁業	●	●	
	2. 観光・交流政策 ～関係人口・交流人口の創出～	1. 観光	●	●	●
		2. 文化・スポーツ			●
		3. 地域プロモーション	●	●	●
	3. 社会基盤・暮らし政策 ～基盤づくりと利便性向上～	1. 社会基盤	●	●	
		2. 公共交通	●	●	
		3. 市民生活	●	●	
		4. 防災・減災		●	●
	4. 医療・福祉政策 ～未来につながる医療・福祉～	1. 保健・医療		●	●
		2. 福祉	●	●	●
	5. 教育・人づくり政策 ～ふるさと愛、学びの場創出～	1. 教育	●	●	●
		2. 子ども・子育て・家庭		●	●
		3. 生涯学習	●	●	●
	6. 地域共創政策 ～共に創る、地域の未来～	1. 地域コミュニティ・住民自治			●
		2. 移住	●	●	●

表. 施策体系図

5. 総合戦略の視点

国は「地方創生2.0基本構想」を通じ、強い経済と豊かな生活環境の好循環による新しい日本の創造を目指すとして、各自治体に地方創生の取り組みを促しています。

その中で、人口減少という全国的な課題に対しても、地域の魅力や暮らしやすさを高めることで人の流れを生み出す方向性が打ち出されています。

本計画では、国の方針を踏まえ、各施策を人口減少対策に関連性の高い3項目に整理し直し、総合戦略としてとりまとめました。

- (1) まちをつくる
- (2) ひとをつくる
- (3) しごとをつくる

総合計画と総合戦略を体系的に管理し、施策を連携させることで相乗効果を最大限に引き出しながら、新しい地方創生への取り組みを推進していきます。

1. 産業政策	ひと	しごと
2. 観光・交流政策	ひと	しごと
3. 社会基盤・暮らし政策	まち	
4. 医療・福祉政策	ひと	
5. 教育・人づくり政策	ひと	
6. 地域共創政策	ひと	

表. 基本政策と総合戦略の視点の対応

6. 施策の推進にあたって

施策の推進にあたり、それぞれの立場において責任と役割を果たしながら、相互に連携・協働を図ります。誰もが「オール由利本荘」で挑戦する姿勢をもち、持続可能かつ実効性のあるまちづくりを進めます。

1	連携・協働の推進	市民、地域、企業、関係機関・団体、行政などがさまざまな分野で連携・協働し、計画の推進を図ります。
2	計画の進行管理	施策や事業の進捗確認、評価を適切に行い、PDCAサイクルに基づく見直しを図ります。
3	持続可能な行財政運営の推進	限られた人材と財源を効果的に活用し、福祉の向上と安定的で質の高いサービスの継続を図ります